

アイヌ語で「広場」の意味 ミンタラ

アイヌ語 ネコンネコン

「いっしょにスキーしよう」
って何て言うの？

ざっぽろ し ざっぽろうがっこうしょうがく ぶ ねん かた だ ゆい
札幌市・札幌聾学校 小学部6年 堅田柚衣さん



たきぐち こんかい だい
瀧口：今回のお題はスキー
です。私はスキー、大ス
キー！



きたはら ふう
北原：ほーう。冬になると
学校の体育の授業でもス

キーをするところがあるよね。

たきぐち ほっかいどう
瀧口：北海道のアイヌ語では「ウトウラ
ノ クワエチャラセアン ロク！」でし
ょうか。「いっしょにクワですべろう！」。
きゅうしゃめん
急斜面をすべり降りるときにクワ（つ
え）をプレーキみたいに使うんだよね？

きたはら はや
北原：そう。速くすべることをエチャラ
セという。

たきぐち あし
瀧口：足もとはどうだったのかな。山歩
きするとき、特に冬は鹿の皮で作るくつ、
ユッケリをはいていたんだよね？

きたはら ゆきやま
北原：そうだね。あと、雪山ではテシマ
とかチンルという「かんじき」をつけて

いた。それがないと、足がうもれちゃう
から。

たきぐち
瀧口：テシマやチンルは、くわやくわ
のつるで作った、楕円形のはきものです
ね。樺太ではスキーがあったでしょう？

きたはら うら
北原：うん、シトウっていうの。裏にアザ
ラシの皮がはってあり、すべるときは毛
がねるよう、斜面をのぼるときは毛が立
ってストッパーになるように使います。

たきぐち かわ
瀧口：かっこいい～！ なるほどね。皮
がはってあると、すべりがいいんじゃない？

きたはら
北原：そうかもしれない。

たきぐち わたし
瀧口：シトウですべてってみたい！ 私
はスキー場では、飛ばしてしまうタイ
プです。

きたはら ほうそうぞく
北原：ほう……、暴走族ですね。

たきぐち き つ
瀧口：気を付けます。

「〇〇ってアイヌ語で何て言うの？」。小学生から寄せられた質問に、
アイヌ民族の2人があーだこーだいうコーナーです。考えた言葉は公式
でもなんでもなく、結論もとくに出しません。ネコンはアイヌ語で「どう（言
うの？）」という意味です。



シトウ
(アザラシの皮をはったスキー)



だい し
題字・イラスト 小笠原小夜

アイヌ民族の口承文芸のアニメ動画を見られるアイヌ民族文化財団のサイト「オルシペスウ
オプ」内の作品「オキクルミの妹」＝QRコード＝で、6分ご
ろからクワエチャラセの場面が登場します



このコーナーでしようかいしたアイヌ語の発音は「まなぶんデ
ジタル」の専用ページ＝QRコード＝で聞
くことができます



北原モコツトウナシ 1976年、東京都生
まれ。ルーツは樺太（サハリン）。北海道大
学教授。むかしのアイヌ民族の暮らし、特に言葉、
音楽、文学、宗教のことを調べている

瀧口タ美 1971年、釧路市生まれ。阿寒湖
畔のアイヌコタンで育ち、幼少期からアイヌの
おどりなどを習う。現在は京都市在住で、編
集グループ「SURE」という出版社の代表